



東海大学
付属市原望洋高等学校

BOYO

2017年 3月1日

第2号

《発行責任者》

望洋会会長：中川 義昭

市原望洋高等学校30周年記念式典



平成28年11月12日(土)
東海大学付属市原望洋高等学校体育館に於いて、
黒坂道生校長、小出讓治
市原市長はじめ本校歴代
校長、近隣の中・高等学校
長、同窓会、望洋会、後援
会、東海大学関連企業等

え記念式典が厳かに執り行われました。

生徒代表挨拶では、生徒会長の中村泰成君から創立者である松前重義博士は内村鑑三の主宰する「内村聖書研究会」に大いに影響を受け、偉大なる思想・世界観・人生観・歴史観・宇宙観の基本的な取り組み、そしてこの偉大な指導者によって有意義な人生を送るべきであるという確固たる信念を与えられ、東海大学を設立した旨の見事な挨拶が披露されました。

中川義昭望洋会会長より
黒坂校長へ記念品として

スーザフォン2本とクラリネット1本が贈呈されました。

「記念演奏会」として、吹奏楽部の演奏が行われ、心和む式典となりました。



式典終了後、松前記念講堂1階の食堂において、中川会長の乾杯の発声により「祝賀会」が盛大に開かれました。
来賓の皆様由市原望洋高等学校を想う厚い気持ちと期待感、祝福に包まれた素晴らしい一日となりました。

開校30周年によせて

望洋会 初代会長 難波 秀行

望洋会発足から30年、盛会をお祝い申し上げます。「望洋会」は、当時の廣川校長先生、兒玉教頭先生からの要請で《教育と部活動の支援と共に保護者の友愛活動の場となるべき》との目標を掲げスタートしました。「人は出会って人を知り、人は語って友となり、人は共にして仲間となる。」を信条に活動する事だったので、卒業生は東海大学・他大学・就職と多岐に亘り、纏める事に悩んだものです。

そこで、卒業時の役員の方々には引き続きご苦勞をお願いして活動する事とし、連絡網を卒業時のままとし、後援会の皆様に了解を頂きました。役員の方々には、今の催しが盛り上がるように活動され、その行動力には今も感謝しております。

下：バラ科まほろば



まほろばとは
「素晴らしい場所」「住みやすい場所」という意味の日本の古語。

でも、3年5年と経過するうちに、今一つ盛り上がり欠けるようになり、方法を模索するうち卒業時の後援会活動が一番纏まっている事に気づき、その力を貸して頂くべく会の再編に着手しました。
いわゆる卒業年度毎の単位で活動を企画し、それによりさらに「望洋会」を盛り上げようと云う事です。そこで、後援会長様には代表役員(いわゆる一般企業の取締役)に就任して頂き、その卒業時の後援会長様の年度毎活動の纏め役をお願いする事にしました。
成果の顕著なのが「ソフトボール大会」です。当時、鈴木銀三郎代表役員(副会長・89年度後援会長)の学年の方々の提案で、学校・後援会・部活動単位の後援会・望洋会とが競い合った「ソフトボール大会」は、学校活動に発展した素晴らしい行事だと思っています。
今後とも年度毎代表役員を中心に親睦を深められ、望洋会活動を盛り上げて頂ければと思っております。

望洋会30周年記念事業

※ 楠の下 整備作業

平成28年10月8日(土)、30周年記念事業として市原望洋高等学校の中心にそびえる楠の下の整備作業を行いました。

午前中はあいにくの小雨模様でしたが、望洋会有志の皆様のご協力のもと、階段の高圧洗浄・木々の伐採・草取り・砂入れ・球根の植え付け・洋芝の蒔きを行いました。洋芝も10日後には元気な芽を出しました。また、10月30日(日)の建学祭バザー終了後に草取り・砂入れ・2回目の洋芝蒔きを行いました。こちらにも元気に芽を出しました。春には色鮮やかな花々が咲き競い、生徒達のくつろげる憩いの場に生まれ変わります。

* 岡本建設様のご協力により、楠下に山砂をトラック15台分寄贈いただきました。



上：整備する望洋会の皆様

左：芝生が芽吹ききました。

下：参加された皆様



市原望洋高等学校の歴史について

明治22年(1889年)11月…加藤俊子が「女子独立学校」として東京府南豊島郡角筈村(現在の西新宿)に開校した。

明治32年(1899年)6月…加藤俊子の死後、内村鑑三が校長に就任。

明治35年(1902年)5月…「精華女学校」に改組・改称。創立者兼校長に勝田孫弥が就任。

明治41年(1908年)3月…「精華高等女学校」と改称。戦後の学制改革で「精華学園女子高等学校・中学校」となる。この頃は歌手や女優が多く在籍。

昭和44年(1969年)…西新宿一帯の再開発により、新宿区柏木に移転。

昭和48年(1973年)4月…市原市へ移転。

昭和49年(1974年)4月…東海大学と提携し、東海大学総長松前重義が精華学園理事長に就任。

昭和50年(1975年)4月…「東海精華女子高等学校・中学校(校長・鈴木哲子)」と改称。

昭和52年(1977年)12月…「東海大学精華女子高等学校」と改称。

昭和61年(1986年)4月…男女共学化に伴い「東海大学付属望洋高等学校」と改称。

平成28年(2016年)4月…「東海大学付属市原望洋高等学校」と改称。

平成28年(2016年)11月12日…開校30周年記念式典実施。

* 30周年に際し、歴史について調べてみました。

東海大学近況報告

●リオデジャネイロオリンピック大会報告会

『なぜ日本が世界で勝ったのか、強化の裏側を知る。』を東海大学湘南校舎にて開催しました。



金メダリスト柔道男子90kg級のベイカー・茉秋選手(体育学部4年生)・柔道女子70kg級の田知本選手(体育学部卒)・競泳女子200m平泳ぎの金藤理絵選手(大学院体育学研究科修了)、銅メダリスト柔道男子60kg級の高藤直寿選手(体育学部卒)と羽賀龍之介選手(大学院体育学研究科修了)の5名が報告会に参加しました。

※パラリンピック自転車競技では藤田征樹選手(工学研究科出身)が銀メダルを獲得しています。

●陸上競技部駅伝チーム

- ・ 出雲駅伝 3位入賞!
- ・ 全日本大学駅伝 7位
- ・ 箱根駅伝 10位(シード権獲得)



上：出雲駅伝3位
下：箱根駅伝を応援する望洋会の皆さん





友情
絆

地震から10ヶ月が経とうとする熊本では、東熊祭(熊本キャンパス)・数鹿祭(阿蘇キャンパス)の合同建学祭が熊本キャンパスで開催されました。

熊本キャンパスには3日間で約5000人が来場しました。

湘南キャンパス



●東海大学建学祭
平成28年11月1(火)〜3日(木)
※全国の東海大学キャンパスで建学祭が開催されました。

文化部活動報告

建学祭は、文化部の日頃の努力と活動の成果のみせどころです!!



※数学部



※英語部

ハノイの塔のパズル!
たった1人の部員で
頑張っています!!

君津・市原地区
英語コンテストに出場

書道部・華道部のコラボ
趣のある演出が素晴らしい



※書道部
※華道部

『Creating History〜新しい1ページ〜』です。

●建学祭
10月29日(土)〜
30日(日)
平成28年のテーマは

市原望洋高等学校近況報告



●市原望洋高等学校 吹奏楽部定期演奏会

平成28年12月25日(日)市原市市民会館大ホールに於いて定期演奏会が開催されました。

平成28年の目標は『〜革命〜 Aim the best time』。三部構成のステージの第二部は「ヒットステージ2016」と題して、初めて「ステージドリル(マーチングのステージ版)」に挑戦しました。30周年の記念品として望洋会が贈呈したスーザフォンとクラリネットも大活躍しました。次回の定期演奏会のステージドリルも今から楽しみみです。



運動部活動報告

●陸上競技部

国民体育大会女子400m 秦野 南美 選手(太田中)が、千葉県代表として 3位入賞! 更に日本ジュニア・ユース女子400mで秦野選手は優勝!

●ソフトボール部

千葉県高等学校ソフトボール新人大会 3位入賞!

望洋会活動報告

●研修旅行 9月24日・25日

長野・群馬県方面 湯田中温泉「ホテル椿野」泊



上：湯田中ホテル椿野前にて
下：富岡製糸場にて



世界遺産『富岡製糸場』を総勢29名で見学しました。県境の紅葉も素晴らしく思い出に残る旅となりました。

●建学祭 バザー協賛 10月30日(日)

昨年に引き続き平成28年も

バザーに協賛しました。

望洋会から米・野菜・梨・柿・みかん・花を献品し、販売しました。販売員も2年目となり、大分板についてきました。

望洋会といたら「米」が定着してきつつあります。



●親睦スポーツ大会

平成28年の親睦スポーツ大会は、雨天中止となりました。今年は、たくさんの方の参加を待ち致しております。

●『望洋杯』ゴルフコンペ 11月23日(祝)



於・千葉新日本ゴルフクラブ
望洋会、後援会、企業の方々
45名で楽しく交流しました。
優勝 杉谷 善久さん
2位 笠原 芳子さん
3位 岡本 優さん

※今後の活動予定のご案内

月 日	内 容
3月4日(土)	卒業証書授与式
3月19日(日) ～30日(木)	第89回選抜高等学校 野球大会
4月5日(水)	入学式
4月第2週(未定)	代表委員会
5月 中旬(未定)	望洋会 総会
6月 初旬(未定)	体育祭
7月 初旬(未定)	暑気払い

多数の会員様の参加を心より
お待ちしております。

あの人は、今・・・第1回



東海大学付属望洋高等学校

第3代校長 清水智明先生

開校30周年を祝して二首が祝賀会の席で披露されました。

『辿り越し 茨の道や 果ての秋』

ここに至るまでを振り返ってみると実に苦勞の多い道程だった。今になったみるとそれも懐かしい思い出。今は一休みしながら秋の終わりを楽しんでい

『あの峠 超えて行かなむ 秋日和』

行く手の峠を越えるには一苦勞するかもしれないが、この麗らかな秋の陽を浴びながら、ゆっくり登って行く。

※いつまでもお元気で、優しい笑顔をこれからも。

※編集後記※

会報誌もおかげさまで第2号を迎えることができました。これも偏に皆様のご理解・ご協力、そして黒坂校長先生をはじめ学校側のご助力に依るところが大きいです。念願の学校のホームページにも望洋会のコーナーが設けられました。今後の広報活動の進め方も皆様のご要望により進めてゆきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に望洋会初代会長 難波秀行様、第3代校長 清水智明先生の寄稿を掲載することができました事を感謝申し上げます。

(編集・広報部・あゝビリーバンバン一同)